

令和 6 年度事業報告

公益財団法人 日本消防協会

令和6年度事業報告

公益財団法人 日本消防協会

多くの方々のご意見を伺い、ご協力をお願いして進めてきた新しい日本消防会館の建設を令和6年度に完了することができた。ご協力に深く感謝しているところである。一方、この時期、災害の様相が変化して大規模化、多発化し、また社会環境の変化のなか、消防団員の減少等、地域防災体制の充実が課題となっている。

新しい会館は、この時に当たって、日本消防の一層の充実発展に貢献できるよう運営していかなければならない。新会館には、建設過程で日本消防防災情報センターの構想についての有識者のご協力を頂きながら、日本消防の展開に大きな影響を与えた関東大震災、阪神淡路大震災の大型画面映像、また国内各地の消防活動の小型画面映像、さらには海外諸国の災害映像等を展示している。

これらを活かしながら日本消防の一層の発展を進めるためには、地域防災力充実強化法の趣旨に沿って、消防団員を中核としながら地域の中広い皆様のご参加による地域防災体制の充実を進める必要がある。そのため、令和6年度も、機関紙「日本消防」の発行、ラジオ放送「おはよう！ニッポン全国消防団」などによる消防団等の多彩なPRを行い、体制強化の推進に努力した。地域防災体制の充実には、女性防火クラブ、自主防災組織、少年消防クラブ等の充実も重要であるので、関係グループの充実強化に資する各種事業に協力してきた。

また、消防団員の地域を守る活動のやり甲斐を実感できるようにすることも重要であり、消防庁のご尽力を得ながら処遇改善を進めたほか、長年にわたり着実な活動をして頂いた消防団員の退職報償金について、「35年以上勤務」の区分を新設するなど改善を進めた。

さらに、消防団員の総合的な福祉向上を図るための事業についても、コロナ禍に伴う対応、災害等に伴う被害についての補償の充実、「全国消防団員応援の店」の増加、サービス内容等の周知等を行っている。殉職者の子弟の就学を支援する消防育英会の奨学金の額の引き上げも行った。

地域の安全を守るために必要な消防活動を円滑に実行することができるよう、また従来から行っている消防団員の各種研修事業をさらに充実するよう、教材作成、研修実施などにも努力した。

以上のように様々な取り組みを行ってきたが、今後も日本消防のさらなる発展のために日本消防の中核拠点として日本消防会館を大いに活用しながら、一層の努力を重ねてまいりたい。

I 公益目的事業

次のとおり、地域防災力の向上等に資する事業を実施した。

1. 消防団員等の福祉厚生に関する事業並びに消防殉職者及びその遺族に対する弔慰救済に関する事業

(1) 消防団員等福祉共済事業

① 加入者数の状況

消防職団員等の加入者は、令和7年3月末現在で 723,317 人となっており、そのうち消防団員の加入者は 716,005 人である。

② 共済金給付の状況

支払われた共済金額は、総額 10 億 58 万円余である。

(内訳)

ア 公務で死亡又は障害を受けた加入者

弔慰金 1 件 2,300 万円

弔慰救済金 1 件 500 万円

イ 死亡した加入者又は障害を受けた加入者

遺族援護金・生活援護金、障害見舞金 903 件 7 億 7,586 万円余

ウ 事故又は疾病を原因として病院等に入院した加入者

入院見舞金 4,659 件 1 億 9,671 万円余

③ 福祉増進事業

消防団員等の健康増進、福祉向上等に資する以下の事業を附帯業務として実施した。

ア 健康増進事業

- ・ 季刊紙の発行

「いきいき消防」を各号につき 11 万部発行し、全国の消防団等に配付した。(年 4 回)

- ・ 健康増進器具の配布

全国の消防団へ健康増進器具の配布等のための助成を行った。

- ・ 都道府県消防操法大会への助成 (4. (4) 参照)

イ 大規模災害活動支援事業 (2. 参照)

ウ 慰霊祭事業

- ・ 第 43 回全国消防殉職者慰霊祭 [令和 6 年 10 月 3 日(木)]

防災の任務を遂行中、不幸にして尊い犠牲となられた、消防殉職者及び消防協力殉難者の功績をたたえ、その御霊に深甚なる敬意と感謝の誠を捧げるため、新しい日本消防会館のニッショーホールにおいて挙行了した。

新合祀 3 柱

合祀合計 5,790 柱

- ・ 慰霊祭助成 [通年]

(ア) 都道府県消防協会の行う慰霊祭に対し助成金を交付した。

35 道府県 350 万円

(イ) 殉職者慰霊式助成金

なし

エ 加入促進事業・活動環境改善事業

- ・ 車両交付事業

消防団防災学習・災害活動車Ⅲ(軽バン型) 11 台

- ・ 新たな災害環境に対応する消防団のあり方に関する講座 (7. (2) 参照)

- ・ 全国女性消防団員活性化とちぎ大会 (4. (2) 参照)

- ・ 全国消防団応援の店

全国の消防団員をサービスの対象にする「全国消防団応援の店」は、各都道府県消防協会をはじめ関係の皆さんのご協力のもと様々なサービスが提供されており、登録店舗数は増え続け、令和7年3月末現在で5,201店舗となっている。

- ・ 全国消防団大会（3. (1)参照）
- ・ 全国消防操法大会（4. (1)参照）
- ・ 消防団幹部等特別研修事業（7. (1)参照）
- ・ 消防団防災学習・災害活動車両交付事業（6. 参照）
- ・ 消防団活動情報提供事業（9. (1)参照）
- ・ ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」事業（9. (5)参照）
- ・ 助成金の交付

都道府県消防協会が行う消防団員研修、福祉共済加入説明会等に対し助成金を交付した。

(2) 女性防火クラブ員等福祉共済事業〔通年〕

① 加入者数の状況

女性防火クラブ員等の加入者は、令和7年3月末現在で8,293名となっている。

② 共済金給付実績等

弔慰金（18件）、重度障害見舞金（2件）、障害見舞金（4件）及び入院見舞金（21件）をそれぞれ支給した。また、都道府県消防協会等に対して会議費や事務費を助成した。

③ 加入の促進

女性防火クラブ員等福祉共済制度加入推進計画に基づき、女性防火クラブ員等福祉共済制度の説明会へ職員等を13回派遣して、制度の周知を図った。

2. 大規模災害の被災地に対する見舞及び支援並びにこれらの斡旋に関する事業

消防団災害活動等支援

長時間にわたり災害活動を行った消防団に支援金を交付した。

- ・ [令和6年7月] 梅雨前線がもたらした大雨による被害への対応 2件(秋田県、山形県)
- ・ [令和6年9月] 台風第10号による被害への対応 5件
(神奈川県、静岡県、大分県、宮崎県、鹿児島県)
- ・ [令和6年10月] 奥能登豪雨による被害への対応 1件(石川県)
- ・ [令和7年3月] 岩手県大船渡市の林野火災への対応 1件(岩手県)

3. 消防活動等の表彰に関する事業

(1) 全国消防団大会（第77回日本消防協会定例表彰式）〔令和7年3月7日(金)〕

（一財）全国市町村振興協会の助成を受けて、次のとおり日本消防会館のニッショーホールにおいて全国消防団大会を挙行政した。

① 定例表彰式

次のとおり、優良消防団等を表彰した。

- ア 特別表彰「まとい」（功績顕著な消防団）10団
- イ 特別功労章(消防業務につき特別の功労のあった者) 10名
- ウ 表彰旗(功績のある消防団) 37団
- エ 竿頭綬(表彰旗を授与するに至らないが功績のある消防団) 89団
- オ 功績章(消防の改善発達に特段の功績のある正会員) 873名
- カ 精績章(永年勤続及び消防業務に関し、率先垂範その成績優秀な正会員) 2,098名
- キ 勤続章(勤続30年以上にわたり職務に精励した正会員) 9,635名
- ク 優良女性消防隊表彰(優良な女性消防隊) 7隊

- ケ 優良女性消防隊員表彰(女性消防隊の充実、発展に特に貢献した者) 7名
- コ 永年勤続職員表彰(都道府県消防協会役職員等で勤続10年以上及び勤務成績良好な者) 10名
- ② 山崎登・国士舘大学名誉教授による「災害情報を防災に生かす」と題した講演を開催した。

(2) 特別表彰〔随時〕2件

4. 消防防災に係る記念事業及び大会の開催に関する事業

(1) 全国消防操法大会〔令和6年10月12日(土)〕

(一財) 全国市町村振興協会の助成を受けて、全国から47隊の出場による第30回全国消防操法大会を宮城県宮城郡利府町において開催した。北海道東北地域で初の開催となった。

なお、大会前日には、大会出場選手、消防応援団のメンバーも参加した激励交流会を6年ぶりに実施した。

(2) 全国女性消防団員活性化とちぎ大会〔令和6年9月19日(木)〕

栃木県宇都宮市ライトキューブ宇都宮において、第29回全国女性消防団員活性化とちぎ大会を開催し、全国から約3,200名の女性消防団員等関係者が参加した。

防火防災啓発劇や記念講演、パネルディスカッション等を行い、栃木県の様々な郷土芸能の披露など、地域を越えた交流が図られる活気の溢れる大会となった。

(3) 全国消防団大会(再掲)

(4) 都道府県消防操法大会〔通年〕

41の都道府県が実施した消防操法大会を対象に1協会あたり50万円を限度として助成金を交付した。

(5) 防災推進国民大会2024〔令和6年10月19日(土)～20日(日)〕

内閣府、防災推進国民会議及び防災推進協議会の主催により熊本県熊本市において開催された防災推進国民大会2024に協力し、シンポジウム「これからの大規模水害対策について ― 熊本水害の体験から ―」を開催した。

(6) 「地域総参加の防災力向上」大会〔令和6年11月7日(木)〕

地域防災力の一層の充実強化を進めるため、全国から地域防災体制の担い手の参加を募り、全国各地のこれまでの災害時の活動体験等を発表する事例報告会を、日本消防会館のニッショーホールにおいて開催した。

5. 自治体消防75周年記念大会に関する事業〔令和6年11月29日(金)〕

(一財) 全国市町村振興協会の助成を受けて、天皇陛下の御臨席を仰ぎ、石破茂・内閣総理大臣をはじめ三権の長等に御出席いただき、日本消防会館のニッショーホールにおいて挙行了。本大会には、全国の消防職団員をはじめ、国会議員、政府関係者、地方自治体関係者、女性防火クラブ等の地域防災関係者など、約700名が参加した。

(1) 自治体消防75周年記念式典

天皇陛下のおことば、石破茂・内閣総理大臣をはじめとする三権の長の方々から御祝辞をいただき、消防関係者一致団結のもと国土を守り、国民の安全を守る消防使命達成への決意を新たにしました。

(2) 表彰及び感謝状贈呈

- ア 内閣総理大臣表彰 17 名
- イ 総務大臣感謝状 13 名
- ウ 消防庁長官表彰 17 名
- エ 日本消防協会会長表彰
 - ・特別功労者表彰 9 名
 - ・永年勤続功労者表彰 423 名
 - ・消防団員家族表彰 1,018 家族・3,243 名
- オ 全国消防長会会長表彰 31 名
- カ 日本防火・防災協会会長表彰
 - ・優良幼年消防クラブ表彰 25 団体
 - ・優良少年消防クラブ表彰 22 団体
 - ・優良女性防火クラブ表彰 25 団体
 - ・優良自主防災組織表彰 16 団体

(3) 記念講演及びシンポジウム

室崎益輝・神戸大学名誉教授から「日本消防 ― これまでとこれから ― 」と題し、また鈴木淳・東京大学大学院人文社会系研究科・文学部教授から「日本消防の歴史」と題して、それぞれの講演を実施した。その後開催したシンポジウムでは、「これからの日本消防 ― さらなる変化への対応 ― 」をテーマに、地方自治関係者や現場経験者などそれぞれの立場での経験を踏まえた課題等について活発な意見交換が行われた。

6. 消防防災に係る施設設備及び資機材の充実強化に関する事業

消防団防災学習・災害活動車両交付事業

(一財)日本宝くじ協会の助成を受けて、地域住民等に対する防災指導や防災学習に使用するほか、災害時には人員輸送や資機材搬送などにも使用できる消防団防災学習・災害活動車Ⅱ（ワンボックス型）を23台交付した。

7. 消防団員等の教育訓練に関する事業

(1) 消防団幹部等特別研修事業

① 消防団幹部特別研修〔令和7年1月14日(火)～17日(金)〕

(一財)全国市町村振興協会の助成を受けて、消防団の災害対応能力の向上と活性化を図るため、消防団長等の上級幹部(47名)に対し各種教養を行い、消防団の指導者を養成した。

② 消防団幹部候補中央特別研修〔令和7年1月29日(水)～31日(金)〕男性の部
〔令和7年2月19日(水)～21日(金)〕女性の部

(一財)全国市町村振興協会の助成を受けて、消防団の幹部候補として活躍が期待される消防団員(男女合計212名)を対象に研修を実施した。

③ 消防団員指導員研修〔随時〕

(一財)全国市町村振興協会の助成を受けて、消防団員の指導員養成のためのテキスト「消防団幹部実務必携」を作成するとともに、34の都道府県消防協会と連携して指導員研修(1,136名受講)を実施した。

(2) 新たな災害環境に対応する消防団のあり方に関する講座〔随時〕

時代の変化に即応した消防団活動の充実、消防団員の確保など消防団組織の強化を進めるため、全国の消防団の活動事例等を作成するとともに、各都道府県の協力を得て、あり方講座を29回実

施した。

(3) 全国消防操法大会（再掲）

(4) 全国女性消防団員活性化とちぎ大会（再掲）

(5) 都道府県消防操法大会（再掲）

8. 地域防災を支える女性防火クラブ、少年消防クラブ、自主防災組織等の活動支援に関する事業

(1) 少年消防クラブ活性化推進事業

① 全国少年消防クラブ交流大会（神戸市）〔令和6年9月14日（土）～15日（日）〕

消防庁との共催により兵庫県神戸市で開催した「全国少年消防クラブ交流大会」では、全国から60の少年消防クラブ参加のもと、消防の実践的な活動を取り入れた訓練等を通じて、全国の少年消防クラブの交流を深めた。

② 少年消防クラブ指導者交流会〔令和7年2月15日（土）〕

（一財）日本防火・防災協会と協力して「少年消防クラブ指導者交流会」を開催した。全国から55の少年消防クラブの指導者が参加し、講演、活動事例紹介及びグループ討議を通じ、相互に情報交換を行った。

③ 第25回少年消防クラブ活性化推進会議〔令和7年3月13日（木）〕

（一財）日本防火・防災協会と協力して「第25回少年消防クラブ活性化推進会議」を開催した。消防庁、文部科学省より報告事項があり、また協議事項として、「令和7年度少年消防クラブの育成支援関連事業（案）」について協議された。

④ ヨーロッパ青少年消防オリンピック派遣事業〔令和6年7月21日（日）～28日（日）〕

C T I F（国際消防救助協会）が、イタリア トランティエーノ/ボルコ・ヴァルスガーナで開催したヨーロッパ青少年消防オリンピックに、我が国の少年消防クラブ4クラブ20名を派遣した。

(2) 女性防火クラブ員等福祉共済事業（再掲）

9. 消防防災思想等の普及徹底及び情報の収集提供並びに雑誌図書その他の刊行頒布に関する事業

(1) 消防団活動情報提供事業〔通年〕

（公社）全国市有物件災害共済会の助成を受けて、ホームページの充実を図り、当協会の事業等について広報に努めるとともに、全国の消防団の活動状況、消防団員確保等に係る情報を提供し、消防団相互の情報交流を積極的に推進した。

(2) 機関誌「日本消防」発行事業〔通年〕

全国の消防団の活動状況等を掲載した機関誌「日本消防」を88,800部発行し、都道府県消防協会、関係省庁、都道府県、市区町村、消防関係機関、各図書館、報道関係等に無料配布した。このほか有料分として、24,000部を発行した。（Ⅱ2. 再掲）

(3) 日本消防防災情報センターの運営

日本消防の発展に影響を与えたさまざまな災害体験（関東大震災、阪神淡路大震災等）、全国各地の取組事例や海外の災害事例等を日本消防会館1階の日本消防防災情報センターに映像展示して、広く多くの方々に対する消防防災情報を提供した。

(4) 情報誌「地域防災」への発行協力

(一財) 日本防火・防災協会が平成 27 年度に創刊した、地域防災に関する総合情報誌「地域防災」(隔月 4 万部) の発行に協力した。

(5) ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」事業〔通年〕

日本消防検定協会及び(一財)自治総合センターの協力を受け、全国 30 局ネットにより毎週放送し、消防応援団等の方々と、各地の消防団員と番組内での対話を通じて、消防団員の士気向上、活動充実、一般の人々の消防団活動に対する理解促進を図った。

(6) 消防人 たまり場

日本消防会館 6 階に消防関係者交流スペース「消防人 たまり場」を設け、打ち合わせや自由な意見交換の場を提供した。

10. 防火防災訓練につき市町村が行う災害補償等の共済に関する事業

防火防災訓練災害補償等共済事業

(1) 加入団体数の状況

市区町村及び組合が防火防災訓練の際における事故について損害賠償又は災害補償を行う場合その負担をてん補することを目的とした制度で、令和 7 年 3 月末現在における契約団体数は 1,277 団体、総人口に対する契約団体の人口の割合は 67.21%となっている。

(2) てん補実績等

損害賠償はなく、災害補償として、入院療養補償(2 件)、通院療養補償(13 件)をそれぞれてん補した。また、共済還元事業として、市町村等に対して消防団防災学習・災害活動車Ⅲ(軽バン型)を 11 台交付した。

11. 消防団員確保対策事業

消防団員の減少傾向をとどめ、団員の増員確保を進め、地域防災力の充実強化を進めるため、令和 4 年 6 月に当協会に設置した消防団員確保対策推進本部において、消防団員確保対策の推進、消防団員 P R の充実等に関する意見を 6 月にとりまとめ、総務大臣、消防庁長官等に要望した。

12. 都道府県消防協会及び消防諸団体の事業に対する協力並びにこれら団体の相互連絡に関する事業

都道府県消防協会のほか、殉職消防職団員等の子弟の育英事業を行う(公財)消防育英会、消防職団員の福祉厚生の一翼を担う生活協同組合全日本消防人共済会、民間防火組織の育成や防火・防災思想の普及を行う(一財)日本防火・防災協会、消防殉職者のご遺族の連絡組織である全国消防殉職者遺族会等に対する事業協力を行った。〔通年〕

13. 消防防災に係る国際協力に関する事業

(1) 日中韓消防交流事業

① 第 13 回 日中韓消防協会会議〔令和 6 年 10 月 29 日(火)〕

日本消防会館において開催し、日中韓各協会の活動状況等について情報交流を行った。

② 第 37 回 日中消防協会定期協議会〔令和 6 年 10 月 29 日(火)〕

日本消防会館において開催し、近年の活動状況、今後の相互消防事情調査、中国消防研修生の受け入れ、消防団等について、意見交換や協議を行った。

③ 第 35 回 中国消防視察〔令和 7 年 1 月 20 日(月)～24 日(金)〕

上海及び蘇州ボランティア消防の実態調査、救助隊の訓練視察と情報交流を行った。

④ 中国消防協会研修視察団の受入れ〔令和 7 年 2 月 17 日(月)～28 日(金)〕

中国の消防関係者 5 名を受入れ、日本の地震や土砂災害対策について、東京消防庁、千葉市消防局等の協力を得て研修を行った。

(2) 消防国際交流事業

- ・ C T I F（国際消防救助協会）〔令和 6 年 6 月 19 日（水）～20 日（木）〕
ノルウェー（オスロー）で開催された C T I F 総会に出席し、C T I F の会計承認、選挙のほか、温暖化問題・災害対応における情報交流を行った。日本からは、近年の活動状況の紹介のほか、新会館建設について報告を行った。

(3) 消防車両等国際援助事業〔通年〕

- ① 各地の消防機関から提供された消防車両を整備し、開発途上国にポンプ車及び救急車等計 81 台を援助した。
- ② カンボジア王国への技術支援〔令和 7 年 3 月 9 日（日）～19 日（水）〕
現地への消防車両の寄贈とともに職員（日本消防協会 3 名、東京消防庁 2 名）を派遣し消防車両のメンテナンスや消防資機材の取扱いと運用方法、また消火活動を主とした消防戦術の指導と実践訓練を実施した。

II 収益事業

公益目的事業の補完的役割を担う事業として次のとおり実施した。

1. 日本消防協会のホール（ニッショーホール）、会議室等を提供する事業〔通年〕

貸室及び貸ホール等の利用状況（令和 7 年 3 月末現在）

| | | | | |
|-------------|----------|---------------------------|--------|--------|
| 貸室 | 14 事業所 | 約 3,325.51 m ² | | |
| | | 内訳 | ヤクルトビル | 日本消防会館 |
| ホール | 166 回 | | 63 回 | 103 回 |
| 大会議室 | 73 回 | | 31 回 | 42 回 |
| A, B, C 会議室 | 合計 232 回 | | 58 回 | 174 回 |

2. 消防防災に関する出版物や物品を販売する事業〔通年〕

機関誌「日本消防」などの出版物、消防団協力事業所表示証及び日消グッズなどの販売促進に努めた。

3. 消防団員等を対象とする積み立て方式の年金事業〔通年〕

(1) 消防個人年金事業加入者数の状況

消防団員の総合的な福祉の増進を目的とした事業の一環として実施しており、令和 7 年 3 月末現在における加入者数は 11,116 名、年金受給者は 10,609 名となっている。

(2) 加入の促進

消防個人年金加入推進計画に基づき、消防個人年金制度の説明会へ職員等を 38 回派遣して、制度の周知を図った。また、都道府県消防協会等に対して活動費や会議費を助成した。

III その他

1. 新日本消防会館の竣工

令和 3 年から建設を進めてきた新しい日本消防会館は、令和 6 年 8 月に竣工し、同年 9 月から供用

を開始した。竣工に伴い、記念イベントを次のとおり実施した。

- (1) 「ありがとう！新日本消防会館完成記念大会」[令和6年10月3日(木)]
新会館の披露及び謝意、日本消防の益々の発展に新会館を活用する決意表明などの完成報告会を開催した。
- (2) 「地域総参加の防災力向上」大会（再掲）
- (3) 自治体消防75周年記念大会に関する事業（再掲）
- (4) 消防職団員の集い（試行）[令和6年12月7日(土)]
多くの消防団員、消防職員等に新会館を見学してもらい、新会館建設の経緯、これからの日本消防全体に関連する会館運営のあり方等を広く知ってもらう機会として報告会及び映像鑑賞会を試行的に開催（158名参加）した。

2. 正会員の状況

| 日本消防協会令和6年度会員数調べ | | | 令和6年10月1日現在 |
|------------------------|------------------------|-------------------|-------------------|
| 正会員数 | 内訳 | | 備考 |
| | 団員 | 職員 | ※うち女性消防団員 |
| 834,527人 (△14,576人) | 747,875人 (△15,214人) | 86,652人 (638人) | 29,780人 (800人) |

()内は、令和5年10月1日からの増減

(参考1) 会議の開催状況

1. 正副会長会議

第1回 正副会長・三委員会委員長会議（消防団員確保対策推進本部）[令和6年5月21日(火)]

場所 ヤクルト本社ビル6階 大会議室

協議・報告事項

- (1) 新会館建設状況
- (2) 「より確実な地域の安全確保のために」協議
- (3) 令和7年度以降の国等への要望
- (4) 新会館完成後の主要イベント
- (5) 「日本消防会館運営委員会」の設置協議
- (6) 防災推進国民大会（熊本大会）及び地域防災力充実強化大会（熊本大会）

第2回 正副会長会議[令和6年6月26日(水)]

場所 ヤクルト本社ビル6階 A会議室

提出議案 (1) 臨時理事会の議事について

第3回 正副会長会議[令和6年10月2日(水)]

場所 日本消防会館6階 A会議室

提出議案 (1) 臨時理事会の議事について

第4回 正副会長・三委員会委員長会議[令和7年3月6日(木)]

場所 日本消防会館6階 役員会議室

提出議案 理事会等の議案等について

2. 理事会

第1回 臨時理事会（書面決議）[令和6年4月24日(水)]

議案 (1) 基本財産（土地）の一部除外について

第2回 定時理事会（書面決議）[令和6年6月12日(水)]

- 議案
- (1) 令和5年度事業報告の承認について
 - (2) 令和5年度決算の承認について
 - (3) 定時評議員会の開催について

第3回 臨時理事会[令和6年6月27日(木)]

場所 ヤクルト本社ビル ニッショーホール

- 議案
- (1) 内閣府への書類の提出について
 - (2) 主たる事務所の移転について
 - (3) 顧問の選任について

- 協議事項
- (1) 監事及び会計監査人の選任に関する監事の同意について
 - (2) 消防団員確保対策に関する意見書について
 - (3) 消防団員確保対策推進本部について
 - (4) 新日本消防会館について

- (5) 新会館完成後の主要イベントについて
- (6) 市町村振興宝くじ（サマージャンボ）の販売促進の協力について
- 諸般の報告(1) 今後の全国大会等の開催計画について
- (2) 第30回全国消防操法大会の実施について
- (3) 防災推進国民大会2024の開催について
- (4) 地域防災力充実強化大会（熊本大会）の開催について
- (5) ヨーロッパ青少年消防オリンピックへの派遣について
- (6) 第37回日中消防協会定期協議会及び第13回日中韓消防協会会議の開催について
- (7) 令和6年度消防育英会懇談会の開催について

第4回 臨時理事会〔令和6年6月27日(木)〕

場所 ヤクルト本社ビル ニッショーホール

- 議案
- (1) 会長及び副会長等の選任について
 - (2) 日本消防協会地震等防災対策委員会、日本消防協会消防団員確保対策等委員会及び日本消防協会福祉共済事業等運営委員会の委員の委嘱について
 - (3) 名誉会員の選任について

第5回 臨時理事会（書面決議）〔令和6年8月1日(金)〕

- 議案
- (1) 常務理事（業務執行理事）の選定について
 - (2) 名誉会員の選任について

第6回 臨時理事会〔令和6年10月2日(水)〕

場所 日本消防会館6階 役員会議室

- 議案
- (1) 評議員会の招集について
- 報告事項
- (1) 「ありがとう！新日本消防会館完成記念大会」について
 - (2) 「地域総参加の防災力向上大会」について
 - (3) 「自治体消防制度75周年記念大会」について
 - (4) 「全国消防職団員の集い」について
- 諸般の報告
- (1) 今後の全国大会等の開催計画について
 - (2) 第30回全国消防操法大会・激励交流会について（宮城県）
 - (3) 第31回全国消防操法大会の開催場所について
 - (4) 防災推進国民大会2024について（熊本県）
 - (5) 地域防災力充実強化大会の開催について（熊本市）

第7回 臨時理事会（書面会議）〔令和6年12月20日(月)〕

- 議案
- (1) 日本消防協会職員給与規程の一部改正について

第8回 定時理事会〔令和7年3月7日(金)〕

場所 日本消防会館6階 役員会議室

- 議案
- (1) 令和7年度事業計画について
 - (2) 令和7年度収支予算について
 - (3) 令和7年度都道府県消防協会分担金について
 - (4) 日本消防協会表彰規程の一部改正について
 - (5) 日本消防協会就業規則の一部改正について
 - (6) 日本消防協会旅費規程の一部改正について

- (7) 日本消防協会職員給与規程の一部改正について
- (8) 役員賠償責任保険契約について
- 協議事項等(1) 「地域防災 総合力の充実」大会について
- (2) 「山火事など世界災害」国際会議について
- 諸般の報告(1) 今後の全国大会等の開催計画について
- (2) 防災推進国民大会の開催について
- (3) 日本消防防災情報センターにおける消防防災の幅広い活動紹介について
- (4) 消防育英会奨学金等の改定について

3. 評議員会

第1回 評議員会（書面決議）[令和6年4月30日(火)]

議案 (1) 基本財産（土地）の一部除外について

第2回 評議員会 [令和6年6月27日(木)]

場所 ヤクルト本社ビル ニッショーホール

- 議案
- (1) 令和5年度事業報告の承認について
 - (2) 令和5年度決算の承認について
 - (3) 理事及び監事の選任について
 - (4) 補欠評議員の選任について
 - (5) 会計監査人の選任について

理事会決議事項の報告

- (1) 内閣府への書類の提出について
 - (2) 主たる事務所の移転について
 - (3) 顧問の選任について
- 協議事項等(1) 消防団員確保対策に関する意見書について
- (2) 消防団員確保対策推進本部について
 - (3) 新日本消防会館について
 - (4) 新会館完成後の主要イベントについて
 - (5) 市町村振興宝くじ（サマージャンボ）の販売促進の協力について
- 諸般の報告(1) 今後の全国大会等の開催計画について
- (2) 第30回全国消防操法大会の実施について
 - (3) 防災推進国民大会2024の開催について
 - (4) 地域防災力充実強化大会（熊本大会）の開催について
 - (5) ヨーロッパ青少年消防オリンピックへの派遣について
 - (6) 第37回日中消防協会定期協議会及び第13回日中韓消防協会会議の開催について
 - (7) 令和6年度消防育英会懇談会の開催について

第3回 評議員会（書面決議）[令和6年7月31日(水)]

- 議案
- (1) 補欠評議員の選任について
 - (2) 補欠理事の選任について

第4回 評議員会（書面決議）[令和6年12月20日(金)]

- 議案
- (1) 日本消防協会役員給与規程の一部改正について

第5回 評議員会 [令和7年3月7日(金)]

場所 日本消防会館2階 大会議室

- 議案 (1) 令和7年度事業計画について
(2) 令和7年度収支予算について
(3) 令和7年度都道府県消防協会分担金について

理事会決議事項の報告

- (1) 日本消防協会表彰規程の一部改正について
(2) 日本消防協会就業規則の一部改正について
(3) 日本消防協会旅費規程の一部改正について
(4) 日本消防協会職員給与規程の一部改正について
(5) 役員賠償責任保険契約について

- 協議事項等(1) 「地域防災 総合力の充実」大会について
(2) 「山火事など世界災害」国際会議について

- 諸般の報告(1) 今後の全国大会等の開催計画について
(2) 防災推進国民大会の開催について
(3) 日本消防防災情報センターにおける消防防災の幅広い活動紹介について
(4) 消防育英会奨学金等の改定について

4. 三委員会合同委員会（地震等防災対策委員会、消防団員確保対策等委員会、福祉共済等運営委員会）

[令和6年6月27日(木)]

場所 ヤクルト本社ビル ニッショーホール

議事 各委員会の委員長の選出について

5. 監事監査 [令和6年5月27日(月)]

場所 ヤクルト本社ビル6階 大会議室

内容 令和5年度事業及び会計の監査について

6. 顧問会議 [令和7年2月25日(火)]

場所 日本消防会館6階 役員会議室

内容 新日本消防会館完成、地域防災力充実強化対策

7. 都道府県消防協会事務局長・共済会支部事務長会議 [令和7年2月28日(金)]

場所 日本消防会館2階 大会議室

内容 令和7年度事業について
(閉会后、第26回全国女性消防操法大会出場順位抽選会を実施)

8. その他会館改築・運営関係

日本消防会館建設運営委員会 [令和6年6月26日(水)] ヤクルト本社ビル6階 大会議室

新日本消防会館建設委員会 [令和6年9月9日(月)] 日本消防会館6階 役員会議室

日本消防会館運営検討委員会 [令和7年2月20日(木)] 日本消防会館6階 役員会議室

(参考2) 役員名簿

役員 (令和7年3月31日現在)

| | | | |
|------------|-------|-------|---------------------------------|
| 理 事 (会長) | 秋本 敏文 | | 令和6年6月27日再任 |
| 理 事 (副会長) | 花田 了彰 | (北海道) | 令和6年6月27日再任 (令和6年6月27日副会長再任) |
| 〃 | 佐藤 孝義 | (宮城県) | 令和6年6月27日再任 (令和6年6月27日副会長就任) |
| 〃 | 山口 彦市 | (東京都) | 令和6年6月27日就任 (令和6年6月27日副会長就任) |
| 〃 | 森田 耕一 | (埼玉県) | 令和6年6月27日就任 (令和6年6月27日副会長就任) |
| 〃 | 河合 有二 | (岐阜県) | 令和6年6月27日就任 (令和6年6月27日副会長就任) |
| 〃 | 安満 真哉 | (兵庫県) | 令和6年6月27日再任 (令和6年6月27日副会長就任) |
| 〃 | 松浦 嘉昭 | (島根県) | 令和6年6月27日再任 (令和6年6月27日副会長再任) |
| 〃 | 河野 良雄 | (徳島県) | 令和6年6月27日就任 (令和6年6月27日副会長就任) |
| 〃 | 川上 清記 | (長崎県) | 令和6年6月27日再任 (令和6年6月27日副会長再任) |
| 理 事 (理事長) | 北崎 秀一 | | 令和6年6月27日再任 |
| 理 事 (常務理事) | 田中 豊 | | 令和6年6月27日再任 |
| 〃 | 米澤 健 | | 令和6年8月1日就任 |
| 理 事 | 小林 輝幸 | | 令和6年6月27日再任 |
| 〃 | 熊野 主税 | (北海道) | 令和6年6月27日再任 |
| 〃 | 佐藤 隆士 | (岩手県) | 令和6年6月27日就任 |
| 〃 | 田辺 隆 | (山形県) | 令和6年6月27日就任 |
| 〃 | 名取 守 | (山梨県) | 令和6年6月27日就任 |
| 〃 | 福澤 賢治 | (長野県) | 令和6年6月27日就任 |
| 〃 | 加藤 英樹 | (福井県) | 令和6年6月27日就任 |
| 〃 | 松浦 文信 | (静岡県) | 令和6年6月27日就任 |
| 〃 | 松本 淳 | (奈良県) | 令和6年6月27日就任 |
| 〃 | 今井 俊博 | (滋賀県) | 令和6年6月27日就任 |
| 〃 | 永井 秀一 | (岡山県) | 令和6年6月27日再任 |
| 〃 | 小西 輝保 | (山口県) | 令和6年6月27日再任 |
| 〃 | 長尾 庄司 | (香川県) | 令和6年6月27日再任 |
| 〃 | 市原 泰 | (高知県) | 令和6年6月27日再任 |
| 〃 | 角 一徳 | (福岡県) | 令和6年6月27日就任 |
| 〃 | 高橋 昌久 | (宮崎県) | 令和6年6月27日再任 |
| 監 事 | 山形 博利 | (青森県) | 令和6年6月27日就任 |
| 〃 | 高橋 喜良 | (群馬県) | 令和6年6月27日就任 |
| 〃 | 森田 武士 | (京都府) | 令和6年6月27日就任 |
| 〃 | 延近 敬弘 | (広島県) | 令和6年6月27日就任 |
| 〃 | 三浦 勉 | (大分県) | 令和6年6月27日就任 |

退任された役員（令和6年度中）

| | | | |
|-----------|-------|--------|---------------------------------|
| 理 事（副会長） | 下山 正彦 | （青森県） | 令和6年6月27日退任 （令和6年6月27日副会長退任） |
| 〃 | 沖山 仁 | （東京都） | 令和6年6月27日退任 （令和6年6月27日副会長退任） |
| 〃 | 古山 大功 | （栃木県） | 令和6年6月27日退任 （令和6年6月27日副会長退任） |
| 〃 | 水島 三雄 | （福井県） | 令和6年6月27日退任 （令和6年6月27日副会長退任） |
| 〃 | 田中 照浩 | （大阪府） | 令和6年6月27日退任 （令和6年6月27日副会長退任） |
| 〃 | 市原 泰 | （高知県） | 令和6年6月27日副会長退任） |
| 理 事（常務理事） | 田中 豊 | | 令和6年7月31日退任 |
| 理 事 | 高橋 正尚 | （秋田県） | 令和6年6月27日退任 |
| 〃 | 飯田 孝彦 | （神奈川県） | 令和6年6月27日退任 |
| 〃 | 石橋 毅 | （千葉県） | 令和6年6月27日退任 |
| 〃 | 鍋谷 有介 | （石川県） | 令和6年6月27日退任 |
| 〃 | 水嶋 義弘 | （愛知県） | 令和6年6月27日退任 |
| 〃 | 植田 和生 | （滋賀県） | 令和6年6月27日退任 |
| 〃 | 大西 浩司 | （愛媛県） | 令和6年6月27日退任 |
| 〃 | 山口 純一 | （熊本県） | 令和6年6月27日退任 |
| 監 事 | 吉田 秀一 | （福島県） | 令和6年6月27日退任 |
| 〃 | 葉梨 衛 | （茨城県） | 令和6年6月27日退任 |
| 〃 | 鹿熊 正一 | （富山県） | 令和6年6月27日退任 |
| 〃 | 河野 良雄 | （徳島県） | 令和6年6月27日退任 |
| 〃 | 角 一徳 | （福岡県） | 令和6年6月27日退任 |